

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立淀川中学校

令和8年4月

大阪市立淀川中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は不登校生徒の増加、家庭での学習習慣が身につけていないことが課題として挙げられる。不登校生徒には「スペシャルサポートルーム(学びルーム)」の活用を促していく。府(市)平均から下回っている全国学力学習状況調査や大阪府チャレンジテスト(大阪市 plus も含む)の学校平均を限りなく府(市)平均に近づけていく。今年度も ICT 機器の活用のさらなる『進化』、「主体的・対話的で深い学び」の要素を取り入れた授業の『推進』、3年間で系統立てられた「人権学習」、「平和学習」、職場体験学習、職業講話などの「キャリア教育」、「健康教育」「性教育」「食育」、地域・区役所・消防署と連携した「防災学習」などを大きな軸とした総合的な学習の時間の『充実』を継続して図っていく。

中期目標 … 大阪市教育振興基本計画(R8年度～R11年度)より抜粋

【安全・安心な教育の推進】

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を令和11年度末までに87.0%以上にする。【全国学力・学習状況調査】
- 不登校児童生徒の在籍比率を令和11年度末までに8.62%以下にする。【本市調査〔生活指導に関する調査〕】
- 「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を令和11年度末までに88.0%以上にする。【全国学力・学習状況調査】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比(国語)を令和11年度末までに1.00以上にする。【全国学力・学習状況調査】
- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比(数学)を令和11年度末までに1.00以上にする。【全国学力・学習状況調査】
- 体力合計点の対全国比(男子・女子)を令和11年度末までに1.01以上にする。【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

【学びを支える教育環境の充実】

- 「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童生徒の割合を令和11年度末までに80.0%以上にする。【本市調査〔年度目標アンケート〕】
- 各校種における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を令和11年度末までに30時間以下にする。≪「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」より≫ 【本市調査〔システムによる自動集計〕】

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90.7%以上（昨年度：90.6%）にする。

○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度(昨年度：17.6%〔42名／在籍239名〕)より減少させる。

○年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90.7%以上（昨年度：90.6%）にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント（昨年度：現2年 0.81・現3年 0.84）向上させる。

○中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント（昨年度：現2年 0.88・現3年 0.90）向上させる。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.01 ポイント（昨年度：男子 38.21・女子 51.25）向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

○年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を 70%以上（昨年度未測定）にする。

○教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下（昨年度：30時間33分(R7年度末段階)）とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

年度末に記載

(様式2)

大阪市立淀川中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90.7%以上 (昨年度: 90.6%) にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度(昨年度: 17.6% [42名 / 在籍 239名])より減少させる。</p> <p>○年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90.7%以上 (昨年度: 90.6%) にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1-1 いじめへの対応】(生徒指導主事)</p> <p>いじめの未然防止はもとより、発生したいじめ事案に全教職員が組織的に対応する。そのために、年3回のいじめアンケートの実施やいじめ対策委員会の適切な運用をおこなう。</p> <hr/> <p>指標 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 88.9%以上 (昨年度未計測) にする。</p>	
<p>取組内容②【1-2 不登校への対応】(生徒指導主事)</p> <p>担任・学年教員による該当生徒・保護者へのアプローチはもとより、職員会議や生活指導部会、いじめ不登校対策委員会やSC会議等で情報共有を密におこない、学校全体で不登校への対応にあたる。また、SSR(学びルーム)を効果的に活用していく。</p> <hr/> <p>指標 (2学期末段階で) 不登校生徒の在籍比率を前年度 (昨年度: 17.6% [42名 / 在籍 239名]) より減少させる。</p>	
<p>取組内容③【2-3 人権を尊重する教育の推進】(人権教育主担)</p> <p>人権教育担当が主導のもと、3年間で障がい者差別問題、在日外国人差別問題、部落差別問題を軸として計画的に取り組みを実施し、全教職員で人権意識の高い生徒集団の醸成をおこなう。また、道徳教育も充実させ、生徒の自尊感情を高める。</p> <hr/> <p>指標 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90.7%以上 (昨年度: 90.6%) にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立淀川中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント (昨年度: 現2年 0.81・現3年 0.84) 向上させる。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。(昨年度: 現2年 0.88・現3年 0.90)</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.01 ポイント (昨年度: 男子 38.21・女子 51.25) 向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4-1 言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成)】(国社数理英教科主任)</p> <p>学力向上を第一の目標に、質の高い授業を全学年、全教科でおこなう。</p> <p>指標 【3年生】中学生チャレンジテストの対府比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの教科も前年度(2年時: 国語 0.84・社会 0.84・数学 0.90・理科 0.85・英語 0.84)より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>《1, 2年生のチャレンジテストの結果は3月末まで確定しないため、指標の数値目標は3年生のみとする》</p>	
<p>取組内容②【5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進】(保体教科主任)</p> <p>保健体育の授業、部活動(運動部)、学校行事、日々の教育活動を通じて、生徒の体力・運動能力向上につなげる。</p> <p>指標 年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 59.2%以上(昨年度: 59.1%)にする。</p>	
<p>取組内容③【5-2 健康教育・食育の推進】(健康教育部長)</p> <p>健康教育部長(保健主事も含む)が主導のもと、生徒に「規則正しい生活習慣」「健康なからだづくり」を身につけさせる。また、「食育」についても理解を深める。</p> <p>指標 年度目標アンケートにおける「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること)」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 84.3%以上(昨年度未測定)にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立淀川中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を70%以上(昨年度未測定)にする。</p> <p>○教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下(昨年度:30時間33分(R7年度末段階))とする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6-1 ICTを活用した教育の推進】(ICT教育主担)</p> <p>各教科、各学級、各学年とさまざまな方向から、生徒に授業や家庭学習で学習者用端末を使用させ、学びにつなげていく。</p> <hr/> <p>指標 年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を70%以上(昨年度未測定)にする。</p>	
<p>取組内容②【7-1 働き方改革の推進】(管理職)</p> <p>「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、「働き方改革」の意識を全教職員に醸成する。教育の質を落とすことなく、「45分授業・週28コマ」の実施も含めて業務の効率化や軽減、学校行事や諸会議などの精査や精選を学校全体でおこなう。</p> <hr/> <p>指標 (令和8年12月末段階で) 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下(昨年度:30時間33分(R7年度末段階))とする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立淀川中学校 学校協議会

1 総括についての評価

年度末に記載

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--